



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL <http://www.cota.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,955	7.2	978	22.1	972	24.5	656	29.3
27年3月期第3四半期	4,622	4.9	801	3.1	780	0.6	507	5.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	50.07	—
27年3月期第3四半期	36.38	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,044	6,312	78.5
27年3月期	7,556	5,858	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,312百万円 27年3月期 5,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	5.1	1,105	12.5	1,091	13.6	730	16.6	55.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	13,967,514株	27年3月期	13,967,514株
28年3月期3Q	853,186株	27年3月期	849,624株
28年3月期3Q	13,114,984株	27年3月期3Q	13,958,926株

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、添付資料P. 7「3. 四半期財務諸表 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)」に記載のとおり、当社は平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 平成28年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり四半期純利益は、45円51銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等、緩やかな回復基調が続いておりますが、海外景気の下振れによる影響が懸念される等、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、前期に発売した整髪料の新製品の反動もありましたが、平成27年8月に発売したカラー剤の新製品に加え、平成27年11月と12月に当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催し、トイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、新製品の発売に伴う費用等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,955百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は978百万円（前年同四半期比22.1%増）、経常利益は972百万円（前年同四半期比24.5%増）、四半期純利益は656百万円（前年同四半期比29.3%増）となり、第3四半期累計期間としては売上高、各利益とも過去最高を更新しました。

なお、当社は第1四半期会計期間より美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントへ変更しているため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	2,942	63.7	3,347	67.5	404	13.7
整髪料	1,014	21.9	850	17.2	△163	△16.1
カラー剤	279	6.0	390	7.9	111	39.8
育毛剤	179	3.9	190	3.8	11	6.2
パーマ剤	101	2.2	97	2.0	△4	△4.1
その他	104	2.3	78	1.6	△25	△24.8
合計	4,622	100.0	4,955	100.0	332	7.2

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から487百万円増加し、8,044百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が1,057百万円、受取手形及び売掛金が106百万円増加し、有価証券が634百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から33百万円増加し、1,732百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が233百万円増加し、賞与引当金が106百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から454百万円増加し、6,312百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が459百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、78.5%（前事業年度77.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、美容室の来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、不透明な要素が多く、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、事業活動を行うことには何ら変わりなく、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に加え、非正規販売対策を背景とした独自のブランド戦略等に注力する考えであることから、平成27年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,741	1,080,798
受取手形及び売掛金	1,260,174	1,366,275
有価証券	2,202,484	1,567,949
商品及び製品	499,009	504,655
仕掛品	6,365	13,013
原材料及び貯蔵品	168,915	174,571
その他	124,056	194,288
流動資産合計	4,284,746	4,901,552
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,287,227	1,219,481
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	309,573	248,745
有形固定資産合計	2,755,706	2,627,133
無形固定資産	43,988	83,616
投資その他の資産	472,405	432,111
固定資産合計	3,272,100	3,142,861
資産合計	7,556,846	8,044,413
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,395	110,291
未払法人税等	252,000	292,900
賞与引当金	182,984	76,094
役員賞与引当金	—	20,402
販売奨励引当金	41,610	274,738
その他	554,389	374,564
流動負債合計	1,157,379	1,148,990
固定負債		
役員退職慰労引当金	422,060	462,534
長期預り保証金	119,328	120,528
固定負債合計	541,388	583,062
負債合計	1,698,767	1,732,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,801
利益剰余金	5,953,912	6,413,763
自己株式	△815,212	△820,634
株主資本合計	5,857,300	6,311,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778	631
評価・換算差額等合計	778	631
純資産合計	5,858,078	6,312,361
負債純資産合計	7,556,846	8,044,413

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,622,097	4,955,001
売上原価	1,287,177	1,369,638
売上総利益	3,334,919	3,585,362
販売費及び一般管理費	2,533,750	2,607,239
営業利益	801,168	978,122
営業外収益		
受取利息	1,291	1,191
受取配当金	2,442	1,917
受取賃貸料	5,029	4,635
業務受託料	—	4,000
その他	2,817	2,645
営業外収益合計	11,582	14,390
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	4,705	17,240
支払手数料	23,767	—
その他	3,287	3,139
営業外費用合計	31,760	20,379
経常利益	780,990	972,132
税引前四半期純利益	780,990	972,132
法人税、住民税及び事業税	324,671	388,226
法人税等調整額	△51,504	△72,713
法人税等合計	273,167	315,513
四半期純利益	507,823	656,619

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

「II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) 2 報告セグメントの変更に
関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「トイレタリー事業」、「整髪料事業」、「カラー剤事業」、「育毛剤事業」、「パーマ剤事業」、「その他事業」の6事業を事業セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一セグメントに変更しております。

当社の事業展開、経営管理体制の実態、また取締役会における経営資源の配分の決定及び事業の評価を一元的に行っていること等を踏まえ、事業セグメントについて再考した結果、業務用頭髪用化粧品等の製造及び販売を一体的な事業と捉えている現状を考慮し、事業セグメントは「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一のセグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第3四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成28年1月29日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

平成28年4月1日付をもって平成28年3月31日(木曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

平成28年3月31日(木曜日)最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	13,967,514株
今回の分割により増加する株式数	1,396,751株
株式分割後の当社発行済株式総数	15,364,265株
株式分割後の発行可能株式総数	46,382,688株

3. 日程

基準日公告日	平成28年3月15日(火曜日)
基準日	平成28年3月31日(木曜日)
効力発生日	平成28年4月1日(金曜日)

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	33.07円	45.51円

(注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、平成27年4月1日付の株式分割(1:1.2)及び平成28年4月1日付予定の株式分割(1:1.1)が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。